

Makuhari's Memory

市町村アカデミーでの思い出

全国の仲間と学んだ3日間

3年連続3回目となる市町村アカデミーの研修に、今回は副幹事として参加しました。前回・前々回は座長として参加しましたが、役割が変わっても、この研修への期待感は変わりません。それほどまでに、この場が持つ魅力は大きいのです。

今回受講した「管理職の必須知識講座」は、管理職として直面するあらゆる課題を、専門家の講師陣が幅広く解説してくれる内容でした。メンタルヘルス対策、情報セキュリティ、クライシスコミュニケーション、世代間のコミュニケーション手法など、どれも日々の業務に直結するテーマばかりです。講義はいわば「地図と羅針盤」を示してくれるもので、その先を深めるかどうかは自分自身の努力次第——そんな刺激的な学びの場でした。

特に印象に残ったのは、「正しいマネジメントがメンタルヘルス対策になる」という言葉です。部下を守ることと、組織を動かすこと

は、実は同じことなのだと腑に落ちた瞬間でした。

研修と並んで大きな財産となったのが、全国の自治体職員との交流です。初日の情報・意見交換会、2日目夜の懇親会と、短い3日間の中でも充実した対話ができました。北海道から沖縄まで、それぞれの地域で奮闘する仲間たちの言葉は、どれも新鮮で刺激に満ちています。

全国に仲間がいるという実感が、明日への活力になっています。



藤田 雅史

千葉県我孫子市
建設部下水道課課長補佐
〈受講科目名〉
管理職の必須知識講座
第40期第1組（令和8年度）